

年が明けていい一年にしていくことができるよう過ごしていきましょう。さて、令和6年4月1日より児童・保護者に対する安全指導（事業所の生活における安全・災害や事故発生時の対応・交通安全等）保護者様への説明と共有が義務化されました。1月～3月は「凍結や積雪時の転倒防止」「感染症予防」となっております。1月は「凍結や積雪時の転倒防止」についてお知らせいたします。

【教室での取り組みについて】

こどもプラスでは、子どもたちがより良い環境で学びや遊びを楽しむために、さまざまな取り組みを行っています。

1. 凍結時の行動（送迎中）

凍結が考えられる橋の上やマンホールなどを通る際はしっかりとハンドルを握り、スピードを落として通過するようにしていきます。「急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキ」を避けていきます。

2. 積雪時の行動（送迎中）

凍結時と同じように「急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキ」を避け、車間距離をいつもの2倍取るようにしていきます。制限速度よりもスピードを落とし、安全運転を心がけていきます。保護者との連絡を取り、暗くならないうちに児童を家に送迎します。



【積雪時や凍結時の登下校はどのようにするのか】

1. すべりやすい場所を知ろう

日陰、横断歩道、車のわだち、タイル張りの場所、マンホール、排水溝など凍結時や積雪時はすべりやすくなっている為、登下校中はしっかりと気をつけて歩くようにしましょう。

2. 足元だけではなく頭上にも注意しよう

すべりやすい為、足元ばかり見ていると電線や屋根、街路樹からの雪の落下や氷の落下に気づかない場合もあります。また、車の接近にも気づきにくくなるので、滑りにくい靴にしたり、歩幅をいつもよりも小さくしたりして登下校しよう。

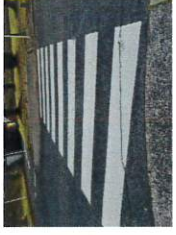
3. 手に荷物は持たないようにしよう

荷物を持ったまま、滑って転んでしまうと手を地面に着くことが出来ない為顔や頭に重大なダメージを負ってしまう場合があります。なるべく手に荷物を持たずに登校しよう。

積雪時、凍結時の注意事項

登下校中にすべりやすい場所はどこだろうか？

日陰 横断歩道の白線 マンホール



車のわだち



車のわだち タイル張りの場所



排水溝



すべりやすいから下だけ見て歩くのはいいですか？

下や前だけではなく上も注意しながら歩こう



手に荷物は持たないようしよう！
ポケットにも手は入れないようしよう！

